海の声　フルバージョン

本調子

→イントロ

七	六̄	工	○	○	中̀	工	○	○	七	六̄	工

そらの

○	○	中̀	工	○	○	中	○	七	六̄	工	○

こえがきたくて

七	六̄	工	○六̄	中	工	五	○	五	工	工	合

かぜのこえにみみす

中	上	中	乙	中	七	六	四	五	工	四	合

ませうみのこえが

上	四	上	合	七	六̄	工	四	七	六̄	工	○六̄

しりたくてきみの

中	工	五	○	五	工	工	合	中	上	中	乙

こえをさがしてる

中	七	六	四	五	工	四	合	上	四	四	○

あえな

○	○	○	○	中	工	○	○	七	六	中	○

いそうおもうほどにあいた

中	○	尺	中	尺	工	工	○	○	七	六	中

いがおおきくなってくかわ

○	中	○	尺	中	尺	工	工	○	○	七	六

のつぶやきやまのささやき

中	○	中	○	尺	中	尺	工	工	○	○	中

みのこえのようにかんじる

上	中	乙	中	七	六	四	五	工	四	○	上

海の声　フルバージョン

本調子

んだめをとじれば

四	四	○	中	上	四	上	○

きこえてくるきみのココロ

中	工	○	工	中	五	○	中	上	四
工	上	中							

ロしたわらいこえ

○	尺	工	○	合	工	中	上	四	○
中	上								

にだせばとどきそ

四	○	四	上	上	○	中	工	五	○
五	工								

うできょうもうたって

中	○	上	○	中	上	四	○	上	中
四	○								

いるうみのこえに

上	○	中	○	七	六	工	○	七	六
工	○								

のせてそらのこえが

中	工	工	○	七	六	工	○	七	六
工	○	六							

ききたくてかぜの

中	工	五	○	五	工	合	中	上	中
乙									

こえにみみすませ

中	七	六	四	五	工	四	合	上	四
上	合								

うみのこえがしり

七	六	工	○	七	六	工	○	六	中
工	五	○							

たくてきみのこえを

五	工	工	合	中	上	中	乙	中	七
六	四								

さがしてる

五	工	四	合	上	四	四	○	七	六
工	四								

海の声　フルバージョン

本調子

七	六	工	○	六中	工	五	○	五	工	工	合
中	上	中	乙	中	七	六	四	五	工	四	合
上	四	四	○	中	上	四	○	七	六	工	○
				た	と	え		ぼ	く	が	
四	上	中	○	工	中	上	○	中中	○	七	六
お	じ	い		さ	ん	になって		も		こ	こ
工	○	中	工	上	上	○	四	四	○	六	七
で		う	た	っ		て	い	る		き	み
中	中	尺	中	○	尺工	○	七	六	工	四	七
だ	け	お	も	っ	て		う	み	の		こ
六	工	四	中	工	五	○	五	工	工	○	中
え	よ		か	ぜ	の		こ	え	よ		そ
上	中	○	工	七	六	○	中	工四	工	○	上
ら	の		こ	え	よ		たい	よう	の		こ
四	上	○	中	上	中	○	工	七	六	○	中
え	よ		か	わ	の		こ	え	よ		や
上	中	合	工	七	六	○	七	六	工	○	工
ま	の		こ	え	よ		ぼ	く	の		こ
六	四	上	四	四	上	四					
え	を	の	せ	て	ゆ	け					

海の声　フルバージョン

本調子

一、空の声が聞きたくて
風の声に耳すませ
海の声が知りたくて
君の声を探してる

会えないそう思うほどに
会いたいが大きくなってゆく
川のつぶやき山のささやき
君の声のように感じるんだ

目を閉じれば聞こえてくる
君のコロコロした笑い声
声に出せば届きそうで
今日も歌っている
海の声に乗せて

空の声が聞きたくて
風の声に耳すませ
海の声が知りたくて
君の声を探してる

たとえ僕がおじいさんになっても
ここで歌っている
君だけ想って

海の声よ風の声よ
空の声よ太陽の声よ
川の声よ山の声よ
僕の声を乗せてゆけ